

道徳学習指導略案

4年1組 31名 指導者 藤谷 祐一郎

本授業では、以下の検証を行うものである。

- 問い直す活動において、「見える図」を活用し、資料と自分の体験を関連付けながら道徳的価値について考えることは、子どもが道徳的価値を理解する手立てとして有効であったか。
- 協同的な「学び合い」において、「思考をつなげる言葉」を使って対話活動を行うことは、資料や自分の体験から道徳的価値をより深く追求する手立てとして有効であったか。

1 主題名 友達と互いに理解し合って（資料名「同じ仲間だから」〈読み物－「わたしたちの道徳」〉）

2 ねらい

友達の身になって考え、互いに理解し合い、友達を大切にしようとする態度を養う。

（2－③ 友情・信頼、助け合い）

3 展開に当たって

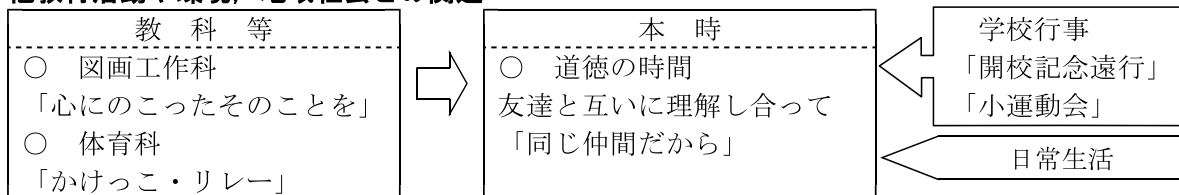
見つめる活動では、まず、事前のアンケートを提示し、子ども一人一人が思っている友達を大切にすることについて見つめさせ、焦点化を図る。次に、「どんな時も、どんな友達にもできているか。」と揺さぶり発問をすることで、「友達を大切にすることは、どのようなことだろう。」という共通の問題意識をもつことができるようにする。

問い直す活動では、まず、資料の中から友達を大切にしている場面や大切にしていない場面を見つけて発表させ、場面絵を黒板に掲示することで、学習問題について焦点化して考えることができるようにする。その際、それらの場面を比較するように板書し、共通点や相違点について気付くことができるようにする。次に、「見える図」を用いて、資料や自分の体験と関連付けながら、友達を大切にすることについて一人で考えるようにする。その後、グループでの対話活動においては、「例えば」「なぜなら」といった「思考をつなげる言葉」を使って具体例や根拠を示すことで、子どもの思考を深めることができるようにする。また、対話活動が停滞しているグループを中心に、思考をつなげる発話を投げ掛け、対話活動を活性化することができるようにする。さらに、グループでの対話活動の後に、各グループでの考えを短冊に書かせ、似ている考えを分類したり、関連付けたりしながら、共通する考えを引き出していくことで、「友達を大切にすること」という道徳的価値により深く迫ることができるようにする。

振り返る活動では、事前に道徳的価値について考えた「見える図」に、本時の学習で分かったことやこれまでの体験やその気持ちを書き加えることで、授業後の深まりを実感することができるようにする。また、友達を大切にすることについての考えを発表させ、再構築した考えを明確化し、これからの自分の生き方についての考えを深めることができるようにする。

あたためる活動では、友達の身になって支え合いながら、学級で頑張っている様子を紹介することで、道徳的実践意欲を高めることができるようにする。

4 他教育活動や環境、地域社会との関連



5 資料について

本資料は、運動会を前に「とにかく勝ちたいと思う気持ち」と「運動の苦手な友達を外して勝つのは間違っていると思う気持ち」との間で葛藤する主人公の姿が描かれている。自分の利害に基づく衝突が強くなるこの時期の子どもにとって、主人公の気持ちに共感しながら、友達の身になって考えることの大切さやお互いの長所や短所を分かり合って、支え合うことの素晴らしさを実感することのできる資料である。

そこで、本資料を使って、友達を大切にするとどのようなことなのか、主人公たちの言動を通して考えることで、自分の利害にとらわれないで友達とかかわり、お互いの長所や短所を理解しながら健康的な仲間集団を作っていこうとする心情を高めることができる。

6 本時の展開

□ 重点化するスキル [] 子どもの意識 ○ 指導の手立て ※ 評価

過程	時間	主な学習活動と指導の手立て
見つめる	3	<p>1 アンケート結果を基に、本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達に優しくすること。 友達と仲良く遊ぶこと。 友達を助けること。 <p>友達を大切にすることは、どのようなことだろう。</p>
問い直す	30	<p>2 資料「同じ仲間だから」を読み、話し合う。</p> <p>(1) 資料の中から、友達について考えることのできる場面を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動の苦手な光夫を外して勝とうとするひろしを注意するところ。 光夫を支えて、一緒に頑張るところ。 運動の苦手な光夫を休ませようとしているところ。 <p>(2) 友達を大切にすることについて、一人で考える。</p> <p>□ 関連付ける</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達のことを考えること。 友達を助けること。 <p>(3) グループで対話活動を行う。</p> <p>□ 関連付ける</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達の気持ちを考えること。 友達の苦手なことを知ること。 友達の力になること。 <p>(4) 学級全体で対話活動を行う。</p> <p>□ 構造化する</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達の気持ちを理解すること。 自分のことばかりを考えず、友達のことも考えること。 友達の苦手なことを分かって、力になること。 <p>○ 資料から友達を大切にしている場面と大切にしていない場面を発表させ、黒板に場面絵を掲示しながら押さえることで、焦点化して考えることができるようにする。</p> <p>○ 友達を大切にしていることと大切にしていないことを比較させることで、その共通点や相違点に気付くことができるようにする。</p> <p>○ 「見える図」を活用することで、資料や自分の体験を関連付けながら、友達を大切にすることについての理解を深めることができるようにする。</p> <p>○ 対話活動の際、「例えば」「なぜなら」などの「思考をつなげる言葉」を使って具体例や根拠を示しながら、思考を深めることができるようにする。</p> <p>○ 教師が思考をつなげる発話をし、各グループから出た感じ方や考え方を関連付けながら、共通する考えを引き出していくことで、「友達を大切にすること」という道徳的価値により深く迫ることができるようにする。</p>
振り返る	9	<p>3 本時の学習で分かったことやこれまでの自分を振り返ってできた体験や気持ちについてを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> まず、友達のことをよく理解することが大切だと分かった。 友達が分からなくて困っている時、一緒に考えてあげたことがあったな。 これから、友達の苦手なことも分かって学級みんなで頑張りたいな。 <p>○ 振り返る活動において、事前に道徳的価値について考えた「見える図」に書き加えることで、授業後の深まりを実感することができるようにする。</p> <p>※ 振り返る活動における子どもの考えを机間指導において次の視点で評価する。(ワークシート・道徳ノート)</p> <p>ア 道徳的価値についての理解をより深めることができたか。</p> <p>イ これまでの自分とのかかわりで考えることができたか。</p> <p>ウ これからの自分の生き方について考えることができたか。</p>
あたためる	3	<p>4 教師の説話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達を大切にするには、相手の気持ちを分かることがまず大事だな。 友達の苦手なことは支えながら生活することが大切なんだな。 友達を大切にすることで、力を合わせて頑張る学級になるんだな。 <p>○ 友達を大切にしてい、学級で頑張っている様子を紹介し、これからの実践に向けて意欲を高めるようにする。</p>

道徳